

市議会だより

平成29年第2回定例会



「燃ゆる感動かがしま国体」開催決定懸垂幕掲揚式(7月21日 市役所市民広場)

- 一般会計 7億7923万円を補正…………… 2
特定離島ふるさとおこし推進事業、
遊休公共施設等増築及び改修助成事業など追加
- 総括質疑並びに一般質問…………… 4
- 私たちが慎重にチェック(委員会報告)…………… 9

発行/薩摩川内市議会
編集/議会だより編集委員会

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号
TEL 0996-23-5111 FAX 0996-23-5015

一般会計 7億7923万円を補正

～特定離島ふるさとおこし推進事業、 遊休公共施設等増築及び改修助成事業など追加～

平成29年第2回定例会は、6月14日から7月7日までの24日間の会期で開催しました。

今定例会では、特定離島ふるさとおこし推進事業や遊休公共施設等増築及び改修助成事業等を主な内容とする第1回補正予算など、議案16件を原案可決。また、市税条例等の一部改正ほか1件の専決処分を承認したほか、公平委員会委員(1人)の選任について同意し、請願・陳情2件を採択しました。

補正予算

平成29年度一般会計補正予算は、第1回補正で7億7923万2千円を追加し、総額で546億1千923万2千円となりました。

第1回補正予算

【補正予算の概要】

- ① 特定離島ふるさとおこし推進事業の補助内示に伴う所要の予算を計上
- ② 国県補助事業における補助内示及び制度改正等に伴う増減調整

特定離島ふるさとおこし推進事業(主なもの)

◆ 甌島地域音声ガイドシステム導入事業

1千万円

甌島を訪れる観光客に対するおもてなしの向上を図るため、音声ガイドシステムを導入し、日本人旅行者及び訪日外国人旅行者への観光ガイドの充実を図るもの。



◆ 消防団施設整備事業

6千189万3千円

上甌大隊里分団北部、中部、南部の車庫詰所を統合し、里分団車庫詰所を新築整備するもの。

◆ 移動図書館車整備事業

1千119万6千円

甌島地域のコミュニティ・学校等の団体や住民に対して巡回図書館サービスを提供している移動図書館車が、塩害や経年劣化により車体の傷みが激しいため、移動図書館車を更新するもの。



現在の移動図書館車

◆ 魚介類中間育成放流事業

500万円

甌島沿岸のあわび資源を維持・増加させるため、稚貝を購入し、放流する経費を補助するもの。(放流個数/5万個)

◆ 甌島ツーリズム戦略シンポジウム開催事業

300万円

甌島ツーリズムの更なる推進と島民の意識醸成を図るため、甌島ツーリズムの意義や可能性について、島民自身が考える機会とすることを目的としたシンポジウムを開催するもの。

◆ 恐竜化石活用事業

460万円

・ 展示施設整備 361万9千円
・ ソフト事業 361万9千円
甌ミュージアム構想事業を推進し、観光・地域振興及び交流人口の増加につなげるため、鹿島支所内の恐竜化石等の展示を拡充し、発掘した化石等を整理・保管するための備品購入等の施設整備を行うとともに、集中発掘会を行うもの。



鹿島支所内の展示状況

その他主な事業

◆遊休公共施設等増築及び改修助成事業

1億円

薩摩川内市遊休公共施設等利用促進条例に基づき、高城西中学校跡地を活用する事業者に対して増築等助成金を交付するもの。(今回初めて同条例に基づき助成金を交付)

【高城西中跡地利活用内容】

①事業概要／キクラゲの菌床栽培・加工(栽培室、乾燥室、加工室等を計画)

②事業者／大崎町の有限会社

③年間栽培量／3万1千500菌床

④年間販売額／約1億5千万円



利活用が決定した旧高城西中学校

◆川内市街部かわまちづくり事業

1千800万円

国による大小路地区の河川改修(引堤)事業に併せ、憩いの場やスポーツ・イベントの場を整備するもの。



川内市街部かわまちづくり事業(大小路地区)予定地

◆甌島健康プロジェクト補助事業

2千39万2千円

甌島地域において、オリジナル健診・体操の組み合わせにより、日常生活動作を維持・向上させ、骨折等による島外緊急搬送のリスクを低減し、健康寿命の延伸等を目的に、本市と東京大学との共同研究による「みまもりケア」を実証するための環境整備を支援するもの。

条例

市町村民税非課税世帯等への保育料軽減

「薩摩川内市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について」及び「薩摩川内市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について」は、原案のとおり可決しました。

市立幼稚園とへき地保育所において、市町村民税非課税世帯における第2子の保育料を無償化するとともに、年収が概ね360万円未満のひとり親世帯等の保育料の負担軽減措置を拡充するものです。(保育所や認定こども園等の保育料についても同様の措置)

民間住宅を借り上げて市営住宅を新たに設置

「薩摩川内市営住宅の一部を改正する条例の制定について」は、原案のとおり可決しました。

民間住宅を借り上げて設置する若葉市営住宅1棟40戸が完成したことに伴い、条例を改正するものです。



若葉市営住宅

議員の質問・政策提言に対する市長等の反問の範囲拡大

「薩摩川内市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について」(議会運営委員会提出)は、原案のとおり可決しました。

本会議等における議員の質問等に対して、市長等が行う反問は、これまで質問等に対する趣旨確認のみであったが、議員の質問や政策提言の考え方に對しても確認(逆質問)できるようにしようとするものです。

請願・陳情

地方財政の充実・強化を求める請願―採択

「地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての請願書」については、討論はなく採決の結果、採択しました。

教職員定数改善等を求める陳情―採択

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元、複式学級解消を図るための、2018年度政府予算に係る意見書の提出を求める陳情」については、討論はなく採決の結果、採択しました。



総括質疑並びに一般質問

議員
12人

6月23日、26日、27日の3日間、総括質疑並びに一般質問を行い、12人の議員が当局に市政全般にわたる質問を行いました。その主なものを紹介します。

敬 和
議 員
瀬 尾



第12回薩摩川内市芸能祭の総括について

問 常熟市の文化交流団を初めて招いての芸能祭だったが、薩摩川内市文化協会も常熟市文化交流団も素晴らしい出来栄であつた。観客も常熟市の演技に惜しみない拍手を送り大成功だった。この芸能祭をどう総括されたか。

答 常熟市文化交流団の出演もあり、例年を上回る来場があつた。また、薩摩川内火けし保存会による「木遣り唄」や各地区の伝統芸能が披露され好評を博すとともに、多くの方が中国伝統文化の披露に感銘を受けていた。



芸能祭での中国常熟市文化交流団の演技

今後も市文化協会の協力を得ながら、市民に親しまれる芸能祭としていきたい。

本市の危機管理について

問 隣国は頻繁にミサイルを発射しているが、原発立地自治体としては他に比較できないほどの危機感を持つべきだ。①Jアラート(全国瞬時警報システム)のチェックは大丈夫か。②有事の際の本市独自の避難方法等を市民に啓発できないか。

答 ①業者や職員が機器の設定状況を定期的に確認しているほか、全国一斉情報伝達訓練等に参加して誤作動がないよう努めている。なお、昨年11月の訓練では、直前に機器が故障し、訓練に参加できなかったが、早急に機器の交換を行い、現在では正常に作動していることを確認している。②有事に備えて市民の理解が進むよう市の広報紙やホームページで、弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合の

一般的な取るべき行動について広報したところである。今後も本市の実態に沿った避難方法を各媒体を通じて周知していきたい。

光 一
議 員
福 元



本市の将来の農業について

問 農業競争力は、農業者の努力では解決できない構造的な問題であるが、どのように解決していったらよいか。

答 国が策定した農業競争力強化プログラムでは、農業者が自由に経営展開できる環境の整備と農業者の努力では解決できない構造的な問題を解決していくこととされており、肥料・農薬・機械などの生産資材価格の引下げや農産物の流通、加工の改革をはじめ13項目に取り組みこととしている。今後、国からの制度説明を受け、関係機関と連携しながら、認定農業者等へ制度を周知し、課題解決に取り組んでいきたい。

こしき島「みらいの島」共同プロジェクトについて

問 上甌島に電気自動車40台を導入するに当たって、ガソリンスタンドの経営等にはどのような問題が起こるのか検討したか。

答 電気自動車40台は、里町・上甌島の自動車登録台数の約2%に当たる。今回、40台分のガソリンを燃料とする自動車が廃止されて電気自動車に代わるということではないことから、経営にどのような問題が起こるかは検討していない。この事業により、甌島のブランドイメージを上げ、観光客や視察者が増加するなど、市全体のPRや活性化に寄与するものとして検討したところである。



上甌島に導入された電気自動車

成川 幸太郎 議員



マイナンバーカードの交付率を高めるための対策について

問 ①マイナンバーカードを活用した国による「地域経済応援ポイント」導入による好循環拡大プロジェクトへの取り組みは。②マイナンバーカードの交付率を高めるために、本市独自でどのような対策を考えているか。

答 ①「地域経済応援ポイント」導入による好循環拡大プロジェクトの実証事業への参加については、商工団体等とも協議し、検討していきたい。②本年10月子育てワンストップサービスの本格運用が予定されており、若い世代へのマイナンバーカードの普及に努めていきたい。併せて同プロジェクトの実証事業への参加や図書館利用カードなどへの活用を具体的に検討していきたい。

※子育てワンストップサービスが進んでいるもので、マイナンバーカードを利用して、インターネット上で児童手当など子育て関連の手続きができるもの。

ふるさと納税の総務省通達に対する対策について

問 ①ふるさと納税に係る高額返礼品を中止した後の対応策は。②総務省が求めている返礼率30%以下にしたときの他の返礼品についての対応は。

答 ①総務省からふるさと納税に係る高額返礼品の見直しについて要請があり、本年9月の商品一覧から高額返礼品は除く予定にしている。現段階での高額納税者への返礼は、返礼品を複数選べるような仕組みを考えている。②9月からは、返礼割合を30%以下に見直すこととし、返礼品の上限額も6万円相当に設定する予定である。

力 松澤 議員



中郷地区の国道267号沿いにおける排水設備の早期改修・整備について

問 中郷地区の国道267号沿いでは、豪雨のたびに冠水や通行止め等で、市民が危険な状況に陥るリスクが存在しており、

排水設備の早期改修・整備が必要だと考えるが今後の方向性について伺う。

答 内水対策中長期ビジョンに基づき、市街地の浸水対策を行っている。中郷地区においては、中郷上池や育英小周辺を整備してきた。銀杏木川については、上流部が市管理であるが、具体的な浸水対策は決定していない。また、銀杏木川と肥薩おれんじ鉄道が交差する箇所は、改修が必要であるとされており、同箇所を管理している県に早急な対応を要望している。今後は、県とともに整備を進めたい。



銀杏木川と肥薩おれんじ鉄道の交差箇所

本市の子育て支援の更なる充実に向けて

問 市民が入所を希望された保育園において、入所保留等により入所できなかった最近の件数とその後の対応・対策について伺う。

答 待機児童は本年4月現在、54人。市街地周辺の特定の保育施設への入所希望が集中している状況にあり、他の保育所の紹介や認定こども園、幼稚園等の利用を促している。市街地周辺の施設整備については、既存保育施設の規模拡大が中心になると考えており、引き続き事業者への支援等を行っていきたい。

裕達 帯田 議員



本市の民生委員・児童委員の現状とサポート体制について

問 民生委員・児童委員は地域福祉の推進に重要な役割を果たし、本年100周年を迎える。一方で住民の抱える課題の複雑化・多様化等に伴い、広範多岐にわたり困難性を増している現

状であるが①活動内容は。②活動方針は。③今後のサポート体制は。

答 ①住民の生活実態把握、相談・援助活動、福祉サービス利用のための情報提供のほか、行政機関等との連携・協力など多岐に及んでいる。②連合会において毎年度活動方針を決定し、本年度は、訪問活動・見守り活動の強化のほか、民生委員制度100周年記念の取り組みを盛り込んでいく。③各地区の定例会には、関係課職員が出席し、また、課題・案件について経験豊富な委員が助言を行うなど一人ひとりで抱え込まないようサポートしている。

明治維新150周年に向けた本市の観光誘客対策について

問 明治維新150周年の節目となる来年のNHK大河ドラマ「西郷どん」の放送が決定し、本県の魅力を発信する絶好のチャンスを迎えているが、この大河ドラマに対する本市の取組は。

答 本市の観光物産ウェブサイトに「こころ」に西郷隆盛のゆかりの地を掲載したほか、「西郷どん」と薩摩川内市」と題したト

クシヨ一の開催や明治維新150周年イベント等に参加し、市のPRに努めてきた。今後は、ゆかりの地を紹介する観光マップや明治維新逸話集を作成するなど、関係団体と連携して機運醸成と情報発信を行い、大河ドラマの効果が全市に波及するよう取り組んでいきたい。

中島 由美子
議員



電動アシスト自転車の購入について

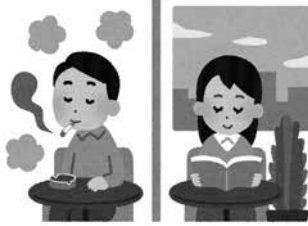
問 自動車運転免許証を自主返納した後の電動アシスト自転車の購入は、「地球にやさしい環境整備事業補助金」の補助対象にならない。返納を計画される方々のためにも、返納前に購入・補助申請されるよう広報周知できないか。

答 市広報紙やFMさつまさんなどなどで広報するとともに、市内の自転車店に対しても説明を行い、制度の周知を図ってきたい。

受動喫煙防止の取り組みを

問 5月31日は世界禁煙デーであり、世界の国々では室内での禁煙は当然のことのようである。本市では、受動喫煙防止のステッカー等をよく見かけますが、商店街等に煙の漏れない喫煙所の設置はできないか。

答 現時点では、場所の選定や管理を考えると市による喫煙所の設置は考えていないが、東京オリンピックやかごしま国体を見据えて、商店街や飲食業組合の方々とどのような対応ができるか協議していきたい。



橋口 芳
議員



川内原発が福島原発のような事故を起こした場合、市長の責任は

問 原発事故は、過去の国内外の事故からもわかるように起こり得る危険性がある。川内原発が事故を起こした場合、被災住民に対し、市長としてどのような方法で、どのように責任をとるのか。

答 これまでも議会で申し上げてきたとおり、一義的には事故を起こした事業者には責任がある。また、国のエネルギー基本計画においては、国が関係法令に基づき責任を持つと明記されていることから、国が責任をとられると考える。

甌島航路は生活航路として、住民の意見を十分尊重して

問 甌島航路は住民の生活航路として重視しなければならぬ重要な航路である。甌島住民の多くが、高速船もフェリーニューこしきとともに串木野新港寄港を望んでいることから、両船ともに串木野新港への寄港に変更できないか。

答 川内甌島航路は、老朽化した高速船を船会社が建造できない状況となったため、甌島住民の生活航路を守り、地域格差を解消し、一体感の醸成を図る方

針のもと、国・県・いちき串木野市、甌島の代表者等で構成する協議会等での検討や市議会での議論等を踏まえ、公設民営方式により開設したもので、これまでの経緯を踏まえると、串木野新港への寄港変更は考えていない。



川内港ターミナル発着の高速船甌島

問 23時から翌朝8時半までの時間帯に夜間当番医を受診した際、診察費のほかに5400円の選定療養費を負担することは、低所得者の方の受診抑制にならないか。

答 コンビニ受診による救急医療現場の疲弊等を回避するため、患者の受診行動に働きかけを行うものである。緊急性がないと判断された場合に適用されるもので、緊急処置が必要な方は従来どおり費用負担なしで受診可能である。このため、体調に異変を感じた場合には、昼間の受診を、また、緊急の場合でも23時までに夜間当番医を受診することなどを事前に周知することで、適正な受診行動をとっていただけるものと考えている。

〔関連／委員会報告9ページ〕

※選定療養費の負担

夜間当番医を受診した時に負担することとなるが、次の者は対象外となる。

- ① 緊急性・重篤性の高い患者
- ② 妊産婦(産科疾患のみ)
- ③ 中学生以下の小児

井上 勝博
議員



川内市医師会が10月から導入予定の選定療養費について

原発事故の避難計画について

問 川内原発の過酷事故対策はされているが①対策が失敗する可能性はないか。②住民の避難に必要なバスの確保は。③バスの運転手の確保は。④10キロ以上遠の医療機関・社会福祉施設の要援護者の避難先の確保は。

答 ①万が一の場合にも事象の進展に応じた多層の防護措置がとられているものと考ええる。②県と県バス協会が締結した災害時等におけるバスによる緊急輸送等に関する協定書に基づき、避難に必要なバスの確保は可能であると考ええる。③バスの運転手の協力等が得られない状況になった場合には、自衛隊等の実働組織が要請に基づき各種支援を実施することになることから、運転手は確保できると考える。④県が開発した原子力防災避難施設等調整システムに避難先候補となる医療機関、社会福祉施設をあらかじめ登録して避難先を迅速に調整するための仕組みを構築しており、今後も県と連携して対応していきたい。

子議員
靖議
森永



子育て支援について

問 ①本市における公園のトイレなどの施設内容が記載されたマップを作成できないか。②総合運動公園わんぱく広場にある大型遊具施設が更新工事であるが、家族連れが休憩できる東屋や木陰になる植樹等を整備する考えはないか。

答 ①平成17年度に遊具の種類等を記載した公園マップを作成し、中央公民館や保健センター等に配置した。今後、トイレやおむつ交換台などの表示や駐車場の有無も記載した公園マップを作成することとし、ホームページでも閲覧できるようにしたいと考える。②3歳未満児用の遊具には、保護者が見守りしやすいよう屋根付きのベンチがついているが、完成後の利用状況や公園全体のレイアウトを見ながら、高木の植栽等を考えていきたい。



遊具老朽化により更新工事中のわんぱく広場

ゴールド集落である八幡校区西川内地区への循環バスの運行について

問 西川内地区は高齢化率64%の集落であり、交通手段が厳しく日常生活に不便を来している。利用したい時だけ走るデマンド交通を導入できないか。

答 平成28年3月に策定した薩摩川内市地域公共交通網形成計画に基づき、地域検討会において意見を伺い、平成29年3月に地域の実情を反映した再編ネットワーク案を作成した。この中で西川内地区については、東郷地域デマンド交通斧淵循環コースを延伸し、再編する計画案としている。今後は、地域公共交

通活性化協議会で再編計画案を決定し、地元説明会を開催後本年度中にデマンド交通の導入を図りたい。

太議員
健議
坂口



本市の観光・シティセールスについて

問 ①「川内川あらし」などの地域資源を活用するなど、地域が主体となって観光資源を開発する際の支援状況は。②観光大使・スポーツ大使の活動状況と市内留学生など外国人へ委嘱する考えは。

答 ①水引地区では、平成27年度から市コミュニティマイスター事業等を活用して、月屋山の散策路や展望台周辺の整備、イベント等を実施されている。今後も地域主体の観光振興を地域の方々とともに取り組んでいきたい。②現在、観光大使とスポーツ大使をそれぞれ6人に委嘱している。観光大使はコンベンションの誘致活動などに、スポーツ大使は合宿団体の紹介などに取り組んでもらっている。

また、本市を十分理解している外国人に観光大使等を委嘱できればよいと考えるが、対応については、留学生も含めて研究させていきたい。



整備された月屋山展望台から見る「川内川あらし」

本市におけるICTの活用について

問 ①本庁と支所を結んでいるテレビ会議システムによる相談の利用状況は。②甌島テレワーク実証事業の利用状況は。③本土地域でもテレワーク事業を推進する考えはないか。

答 ①テレビ会議システムを利用して、消費生活、生活困窮、児童福祉など7つの市民相談を

行っており、消費生活相談を中心に月10件程度の実績がある。
 ②里支所の旧議場に設備を整え、甌島の雇用促進や移定住につなげるため、本年5月から運用を開始し、6月22日現在、登録者数は島内9人、島外2人で、利用は15日間で延べ35人となっている。
 ③民間の光ブロードバンドサービスの提供エリアが郊外まで及んでいないといった課題があるが、甌島の実証事業の結果等を踏まえ、進出企業の需要など情報収集や先進事例を研究していきたい。

※テレワーク
 ICT(情報通信技術)を活用した場所や時間にとられない柔軟な働き方、在宅勤務など。



テレワーク設備を備えた里支所旧議場

光久 議員
 落口

今後の防災管理システムの在り方について

問 災害時の情報伝達として、他自治体においては、音声・文字・画像などの情報伝達が可能なタブレット端末が活用されており、本市でも防災行政無線からタブレット端末に切り替える考えはないか。

答 防災行政無線をデジタル化する際、タブレット端末の導入を検討したが、その時点では防災行政無線のデジタルの電波を受信できないことから、採用を見送った経緯がある。現在スマートフォンやタブレット端末も普及してきており、タブレット端末の導入についても選択肢の一つとして検討の余地があると考えている。

財源確保策に向けた市独自の風力発電所の運営について

問 一部の自治体では財源確保策として風力発電所を独自で運営しているが、本市でも将来の

財源確保策として、同様の取組を行う考えはないか。

答 風力発電を行うとする場合、発電に適した場所の選定のほか、ランニングコスト、動植物への影響や騒音などを考慮する必要がある。自治体が自ら稼ぎ、市民サービスに還元するという考え方は重要であるが、固定買取価格が下落傾向にあるため、市独自の風力発電事業が成り立つのか、詳細な検討をしていないことから、今の段階では判断できない。

秀行 議員
 持原

川内駅東口市有地利活用事業推進に係るインフラ整備について

問 事業予定地近辺は良好な住宅地である。さらには、平佐西小学校のスクールゾーン内に住宅が建設されること等を考慮すると、この事業に先立ち、周辺道路等のインフラ整備を図るべきであると考えているが見解を伺う。

答 早い時期に限之城高城線までのルートを選定し、事業化に

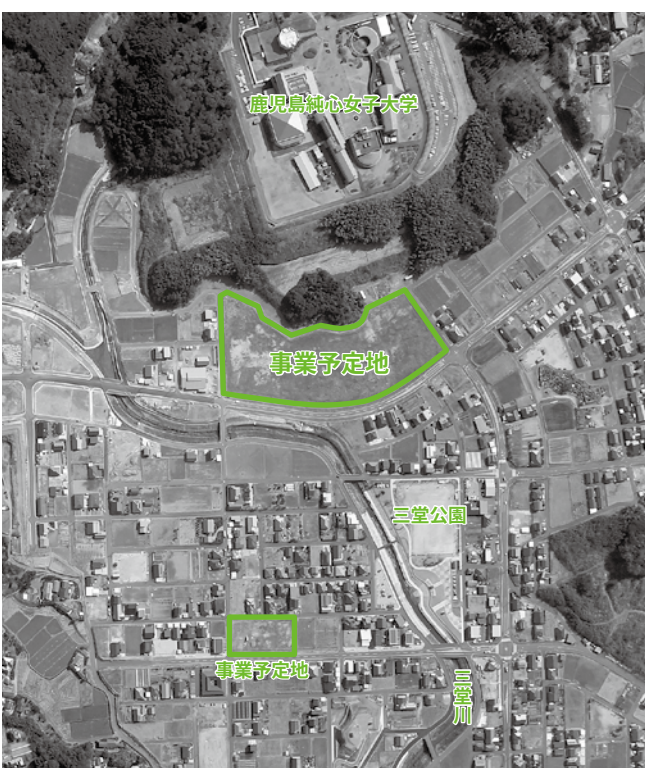
向けた都市計画の決定や関連する事務手続に入りたいと考えているが、旧平佐城跡が広がっていることから文化財の調査が必要になる。また、民家も建て込んでおり、移転補償費等が膨らむことも想定されるため、経済性・効率性などを見極め、地元の見解も聞きながら整備を図っていききたい。

薩摩川内市スマートタウン構想推進事業について

問 天辰第一地区土地区画整理事業地内の2カ所の市有地及び保留地に、エネルギーの自給自

足や災害時には自立した電源確保が可能となる未来型機能を持つ家々が立ち並ぶ街を形成するというこの構想の概要を示せ。

答 市民が安全かつ快適で生活しやすい持続可能なまちづくりを目指し、創エネ・蓄エネ機能を持つスマートハウスや施設が立ち並ぶスマートモデル街区の整備を図るものであり、二つの街区を民間事業者に一括売却し、整備を進めてもらう。民間事業者については公募を行い、プロポーザル方式により、技術提案と価格提案を総合的に評価して選定することとしている。



スマートタウン構想推進事業予定地(天辰第一地区)

私たちが慎重に チェック!

委員会 報告

常任委員会

各常任委員会において、付託された議案等の審査を行い、次のような意見・要望がありました。

総務文教委員会

委員長 帯田 裕達

6月30日開催

所管事務の調査結果

- 1 閉校式及び閉校記念行事に係る費用負担の在り方については、地元実行委員会等と十分協議の上、対応されたい。
- 2 スクールバスについては、シートベルトの法的着用義務はないが、児童の安全性を確保した措置がなされるよう、運行事業者等と協議・検討されたい。
- 3 職員の配置については、定数管理担当部署との連携を図りながら、適材適所を考慮したものであるよう、より一層の対応に努められたい。



企画経済委員会

委員長 下園 政喜

6月30日開催

議案第93号 平成29年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

川内レガッタ大会に対する大会運営補助金については、開催が例年より1カ月程度早まり、7月2日となったことから、一時的に既定予算で執行し、その後、今回の補正予算で調整することとしているが、今後は、当初予算で計上するなど適切に対応されたい。

市民福祉委員会

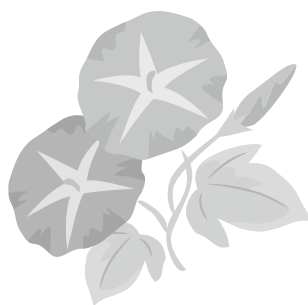
委員長 福田 俊一郎

6月29日開催

所管事務の調査結果

- 1 選定療養費の導入については、川内市医師会が夜間当番医制度を維持していくために必要な取組であることから、その経緯等

については、十分に周知されたい。
〔関連／一般質問6ページ〕
2 甌島における医師住宅及び医療従事者用住宅については、良好な住環境が維持されるよう、必要な改修に取り組まされたい。



建設水道委員会

委員長 福元 光一

6月29日開催

所管事務の調査結果

- 1 危険廃屋等については、補助金を創設し、その解体撤去を促進しているが、適切な管理が実施されるよう、今後一層関係課と連携して取り組まされたい。
- 2 川内駅東西自由通路のエレベーターは、エアコンが備え付けられていないことから、設置できないか検討されたい。

質問力向上のため議員研修会を開催



講演をする廣瀬先生

7月26日(水)、(株)地方議会総合研究所代表取締役及び明治大学政治経済学部講師の廣瀬和彦氏を講師に迎え、「質問力が高める議員力・議会力」と題して議員研修会を開催しました。議員が一般質問等を行う際、効果的な質問となるよう質問力を高めるための方策等について講義が行われ、予定時間を超えての研修会となりました。
本市議会では、議員の政策形成能力等の向上を図るため、研修会等を開催し、更に研鑽して参ります。

スマートフォン、タブレット端末からも 本会議映像を視聴できるようになりました

本会議映像の視聴方法

本会議映像（ライブ映像・録画映像）は、市ホームページからインターネットを通じて配信していますが、平成29年6月定例会からは、**スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけるようになりました。**

なお、視聴方法は次のとおりです。（インターネット等の回線状況によっては、視聴できない場合があります。また、通信料は視聴者のご負担となります。）

薩摩川内市ホームページ中の **市議会** をクリック

市議会

最新情報

7月31日 (市議会) 委員会の開催日程について

7月31日 (平成29年9月定例会) 会期日程について

メニュー一覧

議会のあらまし

議会の傍聴

議員構成

議員紹介

本会議日程

一般質問

議案等

議会中継（平成29年6月定例会以降の映像：スマートフォン・タブレット端末でも視聴可）

議会中継（平成29年3月定例会までの映像：パソコンのみ視聴可）

委員長報告

平成29年3月定例会
までの映像はパソコン
から視聴可

薩摩川内市議会 議会中継

会議名一覧

議員名一覧

会派名一覧

設定

動作環境

キーワード検索

キーワードを入力してください

議員名・会派名からも視聴可

会議一覧

表示年：平成29年

視聴したい日を選択する

▲ 平成29年6月定例会

6月14日 開会、議事日程及び一部議案審議

6月23日 総括質疑並びに一般質問

6月26日 総括質疑並びに一般質問

6月27日 総括質疑並びに一般質問、議案等付託

7月7日 付託事件等審査結果報告、閉会

ページのトップへ戻る

インターネットを利用できない方は 本会議当日のライブ映像は、支所及び地区コミュニティセンター等でも視聴できます。

議 決 結 果 一 覧 表

議案番号	件名	付託先	議決結果
報告第1号	専決処分承認を求めるについて(薩摩川内市税条例の一部を改正する条例の制定について)	—	承認 (全会一致)
報告第2号	専決処分承認を求めるについて(薩摩川内市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	—	承認 (全会一致)
議案第82号	薩摩川内市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 (全会一致)
議案第83号	薩摩川内市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び薩摩川内市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決 (全会一致)
議案第84号	薩摩川内市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決 (全会一致)
議案第85号	薩摩川内市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決 (全会一致)
議案第86号	薩摩川内市工業等開発促進条例の一部を改正する条例の制定について	企画経済委員会	原案可決 (全会一致)
議案第87号	唐浜臨海公園の一部の指定管理者の指定について	企画経済委員会	原案可決 (全会一致)
議案第88号	薩摩川内市の附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第89号	薩摩川内市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第90号	市道路線の廃止及び認定について	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第91号	薩摩川内市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第92号	薩摩川内市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第93号	平成29年度薩摩川内市一般会計補正予算(第1回) (補正額 779,232千円)	総務文教委員会 企画経済委員会 市民福祉委員会 建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第94号	平成29年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計補正予算 (補正額 47,516千円)	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第95号	平成29年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計補正予算 (補正額 2,673千円)	市民福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第96号	平成29年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算 (補正額 3,845千円)	市民福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第97号	和解するについて	企画経済委員会	原案可決 (全会一致)
議案第98号	公平委員会委員の選任について(富吉 雄二氏)	—	同意 (全会一致)

※ 議決結果欄について、「全会一致」は出席議員全員が賛成であったことを示します。

請 願 ・ 陳 情 の 処 理 状 況

請 願

請願番号	件名	提出者	紹介議員	付託先	結果
請願第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての請願書	薩摩川内市職員労働組合	持原 秀行	総務文教委員会	採 択 (全会一致)

陳 情

陳情番号	件名	提出者	付託先	結果
陳情第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消を図るための、2018年度政府予算に係る意見書の提出を求める陳情	黒木 健史	総務文教委員会	採 択 (全会一致)

意 見 書

次の意見書を可決し、関係行政庁に提出しました。

件名	提出先
地方財政の充実・強化を求める意見書	内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策)、内閣府特命担当大臣(地方創生、規制改革)
教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための平成30年度政府予算に係る意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

議会の動き

6月 14日 議員全員協議会(全国市議会議長会表彰等伝達式)
 本会議

議員全員協議会

本会議(一般質問)

本会議(一般質問)

本会議(一般質問)

本会議(一般質問)

建設水道委員会

市民福祉委員会

企画経済委員会

総務文教委員会

議員全員協議会

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議

第3回定例会予定

8月

23日

本会議

議員全員協議会

9月

1日 本会議(一般質問)

4日 本会議(一般質問)

5日 本会議(一般質問)

7日 本会議(一般質問)

8日 本会議(一般質問)

12日 本会議(一般質問)

19日 本会議(一般質問)

22日 本会議(一般質問)

25日 本会議(一般質問)

26日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)

27日 本会議(一般質問)



※日程は変更になることがあります。
 詳しくは議会事務局にお問い合わせください。
 【TEL 23-5111】

本会議や委員会を傍聴してみませんか

本会議

原則、どなたでも傍聴できます

傍聴席数

50席

手続き

市役所4階の傍聴席入口で、受付用紙に記入し、受付箱に入れてから、傍聴してください。

団体でも傍聴できます

・傍聴を希望される団体は、事前に議会事務局までお問い合わせください。
 【TEL 23-5111】

委員会

委員長の許可を得て、傍聴することができます

傍聴席数

第1委員会室 12席
 第2委員会室 16席
 第3委員会室 30席

手続き

市役所3階の議会事務局で受付をしてください。
 なお、委員会の開会時間30分前の時点で、傍聴希望者が定員数を超過している場合は、抽選により傍聴者を決定します。

◆ 議会のホームページで、本会議のライブ中継、録画中継を行っています ◆

編集後記

6月議会からスマートフォンやタブレット端末でも本会議の様子が見られるようになりました。仕事が終わったら家でビールでも飲みながら本会議の様子をのぞいてみてください。そして、ご意見やご叱責など、どんどんお寄せください。

(井上 勝博)

昨年の市議会議員選挙後の議会構成により、議会だより編集委員を任命いたしました。若い委員が多いなかで最高齢の委員となりますが、高齢な方にも見やすく、分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。お気付きの点がありましたらお声かけください。

(成川 幸太郎)

議会だより編集委員会

- (委員長) 松澤 力
- (副委員長) 落口 久光
- (委員) 井上 勝博
- 成川 幸太郎
- 森川 幸太郎
- 坂口 健太



市議会だよりは、国産竹を10%使った紙(中越パルプ工業株式会社川内工場で製造)を使用しています。